

締め具付きスリングによるウインチ固定方法 VF80/VF105



①切り株などに、ベルトスリングを回し、ウインチにベルトスリングを通す。

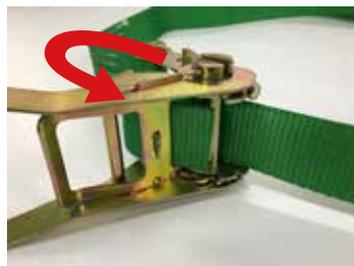
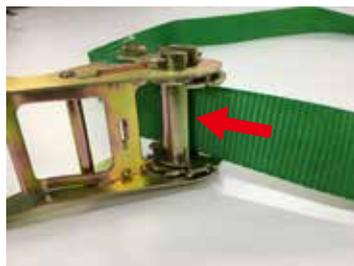
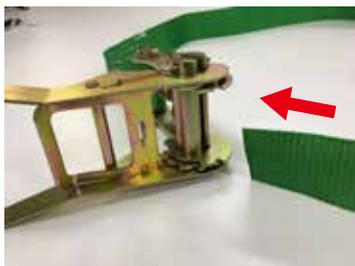


②ベルトスリングの端を締め具のシャフトスリットに通し、締め具（持ち手）を左右に動かし、固定するまで繰り返す。



③固定後、レバーを倒して完了。

シャフトスリットへの通し方



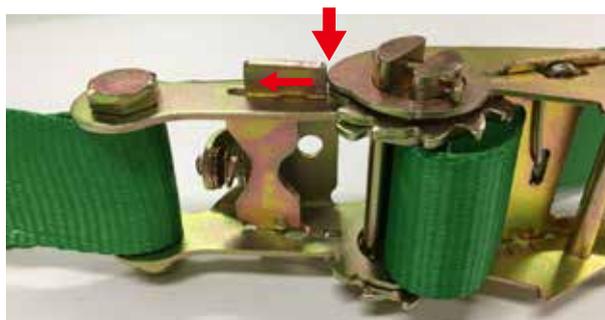
ベルトの開放

①レバーを引いて



②締め具を水平に開く

③ロック部分が押し上がり、ベルトを引くと開放されたシャフトが回転し取り外しできます。



ウィンチロープのセッティング VF80/VF105



①ロープをプーリーワインダーに巻く。



②巻き付け数は5回程度
(使用状況により加減してください。)
※巻き過ぎると乱巻きし易くなります。



③ロープを黒いリールに添わせ、V字カット
を使い下に逃がしておく。



④赤いリールのレバーを手前に引き、ロープを
奥へ通してから、レバーを戻す。



⑤ロッドワインダー (螺旋の針金) にロープを通す。
⑥完了

使用可能な状態

※ロープにテンションが十分に掛かるまで、ゆっくり回転させ、乱巻きを防止して下さい。

※ロープがガイドから絶対外れない様に、注意して下さい。
外れると乱巻きになります。



ウィンチの使用法

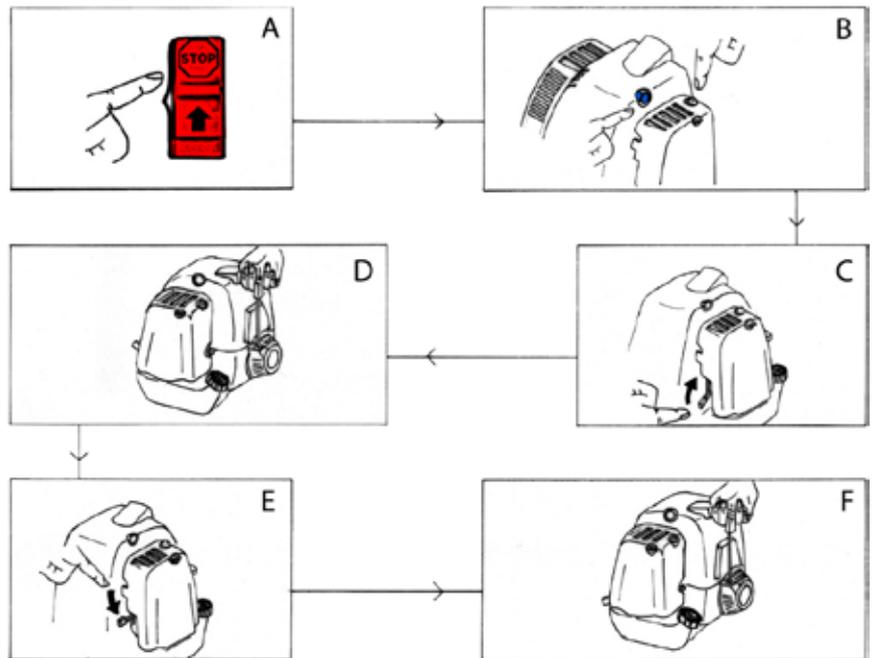
VF80/VF105

エンジン始動の仕方

※燃料は、必ず50：1（ガソリン：添加オイル）の混合燃料を使用してください。
高品質の添加オイルを使用してください。古くなった混合燃料は使わないでください。

- まず**赤色**のエンジンスイッチを下方に押し下げて、ONの状態にしてください。
- 透明樹脂キャップ状の燃料ポンプを5～6回以上指で押し、燃料をキャブレターに回して下さい。
次に、**青色**のデコンプボタンを押してください。（圧縮比が下がり始動が軽くなります。）
- チョークレバーを上方に上げ、チョークを閉じてください。
夏場や再始動などはチョークを閉じる必要ない場合があります。必要に応じて使用してください。
- 始動ハンドルを引いてください。青色のデコンプボタンは引くたびに押して下さい。
5～6回程度繰り返すと初瀑（最初の爆発）が起き、エンジンの始動準備が整います。
- 初瀑が来たらチョークレバーを適度（または完全）に下げて、チョークを調整してください。
- 直ぐに始動ハンドルを引いてください。

エンジンが始動します。



※エンジンが始動したら、チョークレバーは完全に下げてください。（E図）→

使用方法



ロープを引くことでアクセルが開き、（エンジンの回転数が上がり）プーリーが回転します。

ロープを引かないと、エンジンはアイドリングになり、プーリーの回転は止まります。プーリーは逆回転しないので牽引先のロープのテンションは保ったままです。

標準仕様のバンドスロットの取外・ダブルフックの取付方法 (VF80/VF105)

バンドスロット取外方法

必要工具:リングプライヤー、スパナ(19ミリ) 2本



①リングプライヤーでCリング(スナップリング)を外します。



②標準仕様のバンドスロットをシャフトごと抜き取ります。



③取外完了 ※取り付ける場合は、逆の手順になります。

ダブルフック取付方法



①ダブルフック付属のボルトを通す。



②ボルト先に平ワッシャー(平座金)を通す。



③ナットを通す。



④両側から2本のスパナ(19ミリ)で締めて完了。

※取り外す場合は、逆の手順になります。